

GIGA スクール構想の取り組みについて

1 リーディング DX スクール事業

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を、働き方改革と両立させる形につなげる挑戦に不可欠なインフラとして1人1台のGIGA端末が整備された。

全国各地では意欲的な取組が次々と生まれつつある一方で、端末を日常的に活用している学校とそうでない学校との間で大きな差が生じていることから、全国すべての都道府県及び政令指定都市に指定校をおき、GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を徹底的に活用し、情報活用能力の育成を図りつつ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や校務 DX を推進し、全国に好事例を展開することとする。

令和6年度では、全国で109団体、山梨県では 3 団体、本市では塩山南小学校、塩山中学校が指定されている。

2 学校情報化認定事業

教育の情報化の推進を支援するために、学校情報化診断システムを活用して、情報化の状況を自己評価し、総合的に情報化を進めた学校を認定する事業である。

また、「情報化の推進体制」を整え、「教科指導における ICT 活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校を称え、学校情報化優良校として認定される。さらには、学校情報化優良校が一定以上の割合になった地域を学校情報化先進地域として認定される。

甲州市では、市内全小中学校が学校情報化優良校として認定され、さらには県内では初となる学校情報化先進地域に認定された。

■GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストについて

・文部科学省の HP に 1 2 月 2 7 日付けで全国の各市町村の校務 DX 自己点検結果が公表される。

別紙1

- ・甲州市内 1 6 校報告
- ・甲州市 R 6 年度 7 6 9 . 0 点
(甲州市 R 5 年度 500 点)
- ・渋谷区 683 点 久喜市 690 点
- ・戸田市 622 点 春日井市 662 点

GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト

～学校・学校設置者の自己点検結果～

(速報値)

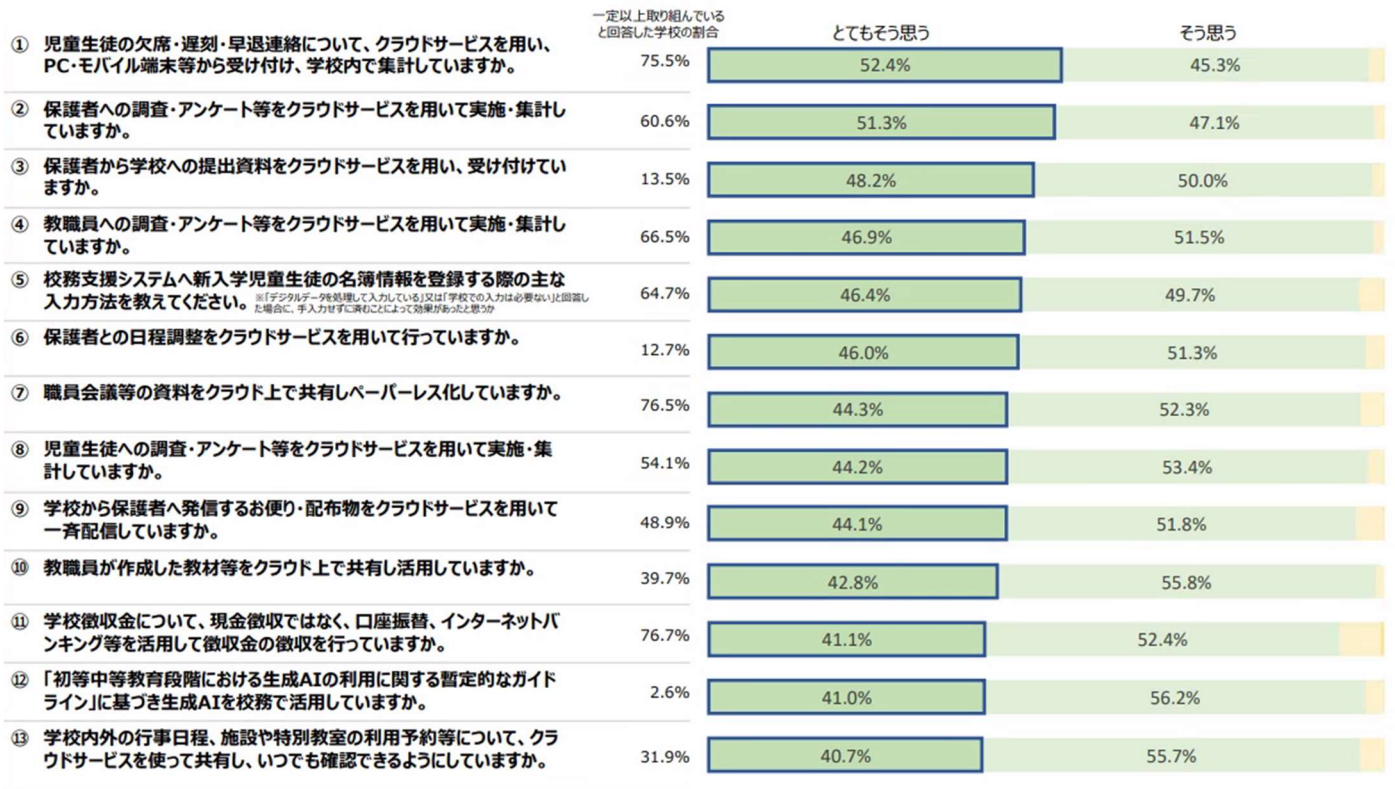
19_ 山梨県				20_ 長野県			
設置者数 (29)				設置者数 (83)			
	設置者	報告数	平均得点		設置者	報告数	平均得点
	山梨県全域	221	452.3		長野県全域	496	370.7
1	山梨県	10	420.2	1	長野県	18	374.1
2	甲府市	33	496.0	2	長野市	75	387.2
3	富士吉田市	11	401.5	3	松本市	46	346.3
4	都留市	9	394.0	4	上田市	30	348.7
5	山梨市	11	484.5	5	岡谷市	9	377.6
6	大月市	7	452.6	6	飯田市	26	448.8
7	韮崎市	7	384.6	7	諏訪市	9	333.1
8	南アルプス市	22	450.3	8	須坂市	11	339.3
9	北杜市	18	390.2	9	小諸市	8	379.5
10	甲斐市	14	425.3	10	伊那市	21	372.0
11	笛吹市	0	報告なし	11	駒ヶ根市	7	338.3
12	上野原市	7	495.7	12	中野市	11	399.1
13	甲州市	16	769.0	13	大町市	7	417.7
14	中央市	9	404.9	14	飯山市	9	365.8
15	市川三郷町	9	372.9	15	茅野市	12	421.8
16	早川町	3	381.3	16	塩尻市	13	388.0
17	身延町	4	373.0	17	佐久市	14	331.7
18	南部町	3	294.7	18	千曲市	13	480.8
19	富士川町	5	414.0	19	東御市	3	432.7
20	昭和町	3	368.0	20	安曇野市	16	358.3
21	西桂町	2	333.0	21	小海町	1	138.0
22	富士河口湖町	8	384.3	22	佐久穂町	2	277.0
23	道志村	2	527.0	23	軽井沢町	4	426.0
24	忍野村	1	518.0	24	御代田町	3	433.3
25	山中湖村	3	319.3	25	立科町	2	233.0
26	鳴沢村	1	428.0	26	長和町	2	273.0
27	小菅村	2	299.0	27	下諏訪町	4	386.0
28	丹波山村	0	報告なし	28	富士見町	4	370.5
29	河口湖南中学校組合	1	598.0	29	辰野町	3	328.7

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_02597.html

「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」に基づく自己点検のフォローアップの実施結果(速報値)について(通知)(令和 6 年 12 月 26 日)

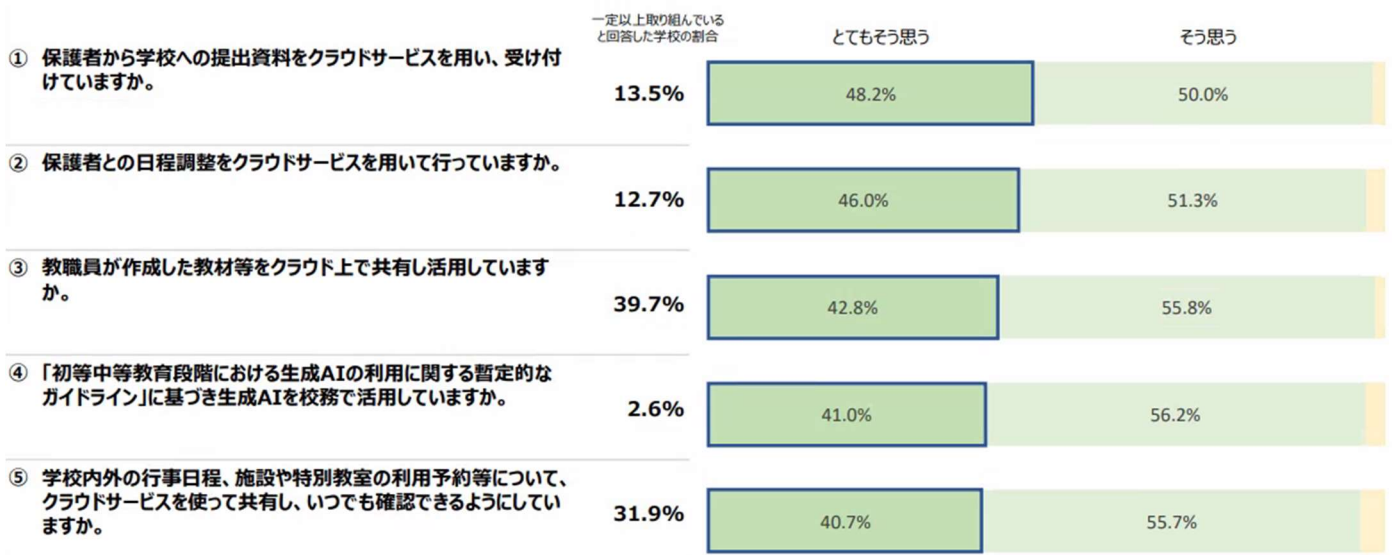
教職員の働き方の改善に対する効果実感が特に高かった項目（学校）

※チェックリストの各項目において「完全にデジタル化している」又は「一部している（半分以上）」（もしくはこれらに相当する選択肢）と回答した学校に対して、当該項目に取り組んだこと等による教職員の働き方の改善に対する効果認識を尋ね、「とても思う」の回答割合が40%以上の項目を抽出。



取り組んでいる学校の割合は比較的低いものの 教職員の働き方の改善に対する効果実感が高かった項目

※チェックリストの各項目において「完全にデジタル化している」又は「一部している（半分以上）」（もしくはこれらに相当する選択肢）と回答した学校の割合が40%未満、かつ、教職員の働き方の改善に効果があったと思うかどうかについて「とても思う」と回答した割合が40%以上の項目を抽出。



https://www.mext.go.jp/content/20241225-mxt_jogai01-000033278_01.pdf

今回の自己点検結果の総括①

自己点検結果のポイント

1. 令和5年度からの進捗

- 令和5年度の自己点検時と比較して、

学校においては

- ・児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、集計
- ・学校から保護者へ発信するお便り・配布物をクラウドサービスを用いて一斉配信

学校設置者においては

- ・教育委員会主催の研修アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計
- ・校務支援システムの導入又は次期更改において、次世代型校務支援システムの導入を検討

といった項目で、「完全にデジタル化している」又は「一部している（半分以上）」（もしくはこれらに相当する選択肢）の回答割合が大幅に増加。

2. 取組の進捗状況の格差

- 令和5年度に引き続き、取組の進捗状況には学校間・学校設置者間で大きな差が存在。

3. 教職員の働き方の改善に対する効果実感

- チェックリストの各項目について一定以上取り組んでいると回答した学校に対して、教職員の働き方の改善に効果があったと思うかどうかを尋ねたところ、

- ・児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受け付け、集計
- ・保護者への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計

といった項目について効果実感が特に高かった。また、

- ・保護者から学校への提出資料をクラウドサービスを用い、受け付け
- ・保護者との日程調整をクラウドサービスを用いて実施

といった項目は、一定以上取り組んでいる学校の割合は比較的低いものの、取り組んだ学校においては教職員の働き方の改善に対する効果実感が高かった。

20

今回の自己点検結果の総括②

自己点検結果に対する文部科学省の受け止め

- 令和5年度から取組の進捗が見られたことは、各学校・学校設置者において、クラウド環境を活用した校務改善が積極的に行われたことの成果であると考えています。一方で、取組の進捗状況に学校間・学校設置者間で大きな差が存在したことについては、一部地方公共団体では整備面等での課題が残っていることも加味して評価する必要があるものの、改善の余地は大きいと考えています。
- 校務DXの取組を進めることは、学校における働き方改革として業務効率化による負担軽減や柔軟な働き方の実現につながるるとともに、教育活動の高度化にも資します。これらは、学校を若者にとって魅力ある職場にするためにも大変重要です。「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」の大多数の項目は、標準的なGIGAスクール環境（児童生徒1人1台端末、教師1人1台端末、クラウド環境）の下で、必ずしも追加の有償ソフト等を導入せずとも実行可能なものです。
- 各学校・学校設置者におかれては、改めて関係者全員で今回の結果を見直し、単純比較ではなく改善のツールとして活用いただきながら、取り組める事項からスピード感を持って取り組んでいただきますようお願いいたします。
- また、学校設置者において、教師1人1台端末及びクラウド環境を十分に整備していない場合には、早急に整備を進めるようお願いいたします。特に、校務DXの実現に最低限必要な基盤としての学校における適切なネットワーク環境については、学校設置者の責任の下で整備していただくようお願いいたします。さらに、ルールについて適切に整備いただくとともに、端末や機能の利用を硬直的に制限している場合には、その必要性について改めて見直しを図っていただきますようお願いいたします。

3. 取り組んでいる学校の割合は比較的低いものの 教職員の働き方の改善に対する効果実感が高かった項目に関する取組事例

① 保護者から学校への提出資料の クラウドサービスを用いた受付

奈良市立鶴舞小学校

取組の内容	保護者からの提出を求めるほぼすべての書類、例えば年度当初の家庭調査票や保健調査票をWebアンケートフォーム等を用いて受け取っている。	
取組前後の 業務実施方法の 変化	取組前	■ 各担当が書式を準備後、児童数分印刷し、配布していた。また、未提出の児童を確認・記録の上、提出するように連日、方法を変えながら呼びかけ、最終的には保護者に電話をかけていた。教頭は、学校全体の提出進捗状況を確認し、各担任に呼びかけていた。未提出の要因も多様で、そもそも保護者の手に渡っていないのか、保護者が未記入なのか、記入後の提出し忘れなのか、記入後の児童による紛失なのかはわからなかった。 ■ 家庭調査票については年度末に各児童に紙で返却していたが、誤返却のリスクを抱えていた。
	取組後	■ プロセスがシンプルになったことで未提出になる要因が減り、未提出の割合が減った。また、提出済みかどうかクラウドサービス上で容易に判別できるようになり、出した・出さないのトラブルも未然防止できるようになった。 ■ 家庭調査票については各児童に返却する必要がなくなったため、誤返却のリスクもなくなった。 ■ さらに、取組方法を検討する中で、保護者に提出を求める書類の見直しにもつながった。
取組前後の 業務実施に費やす 時間の変化	担任一人当たり、全部で数時間かかっていた作業が、10分の1くらいになった感覚がある。	
取組が 進んだきっかけ	奈良市教育委員会による校務DXの強力な推進があった。また、校内においても新型コロナウイルス感染症への対応を通じて、保護者とスムーズにやり取りできる方法を模索した。最近では教頭と教務主任との間で、クラウドを用いることでどのように便利になるのかや、想定される懸念点等も含めて意見交換し、実現方法をブラッシュアップしたうえで取組を実行している。取組の実行に当たっては、校長の深い理解と協力を得ている。	



山梨県甲州市立奥野田小学校

取組の内容	プールカード等の提出に、Webアンケートフォームを用いている。	
取組前後の 業務実施方法の 変化	取組前	■ 各担任が朝にプールカードを紙で回収し、1枚1枚点検し、押印を行っていた。
	取組後	■ プールカードの回収や押印の手間が減り、保護者からの情報が自動で集約されるようになった。また、集約された情報は、いつでも、どこからでも端末で確認ができるようになった。
取組前後の 業務実施に費やす 時間の変化	プールカードの回収、押印がなくなったことで、1日あたり10分はこの業務にける時間が減ったと感じる。プール対応は1か月強の期間実施するため、積算すると一定時間の減少につながっている。	
取組が 進んだきっかけ	甲州市全体でICTの活用が進められていることに加え、近隣にあるリーディングDXスクールと取組の足並みをそろえるため、校長や情報担当のリーダーシップの下で学校としても積極的に校務DXに取り組んでいる。新しいことを導入する際には、情報担当の教員が、クラウドサービスの活用に関心している教員と相談しながら進めている。	



5

https://www.mext.go.jp/content/20241225-mxt_jogai01-000033278_06.pdf

公開授業

塩山南小学校

受付中

1年生国語

4年生算数

6年生社会

令和6年10月30日（水）受付13:20

授業13:35～14:20 研究会14:40～15:10

学習会及び講演会（三井一希先生）15:20～16:20

WEBからの
お申し込み
はこちら！<https://forms.gle/uiHMuZMhb5JhWG86A>

子ども主体の授業 3つのしくみ



個別最適な学びと協働的な学び

学びの手引きを児童に提示しゴールと流れを児童は把握、自走する学びが可能です。



モニタリング

ICT端末から児童も教師も進捗状況を把握、個別の支援も一層可能です。



南小スケールで単元構想

学習課題・学習過程・学習形態・ペース・ツールを子どもに委ねる度合を設計

1年生国語

単元名「せつめいするぶんしょうをかこう じどう車ずかんをつくろう」

授業者：内田由布 教諭

4年生算数

単元名

「数の表し方やしくみを調べよう（小数）」

授業者：後藤 美樹 教諭

6年生社会

単元名「明治の新しい国づくり」

授業者：上矢 元気 教諭

研究授業・研究会会場等について

13時35分～14時20分 研究授業（5校時）
14時40分～15時20分 研究協議※各授業ごとに研究会
15時30分～16時30分全体会（体育館）
指導・助言 山梨大学 准教授 三井一希 先生

【研究授業について】

※研究授業研究協議会や全体での学習会では、本校職員が自分の考えや印象に残ったアートをアウトプットする場としてGoogleチャットを利用します。

	1	2	3	4	5
課題	教師が課題を決定	ほぼ教師が課題を決定	子供に選択肢から選ばせる	子供が選択肢をつくり、選ぶ	子供が自分で課題を決定
過程	教師が意識して過程を回す	子供が過程のどこかを意識する	過程の一部を子供が回す	ほぼ子供の意思決定で回す	すべての子供の意思決定で回す
形態	教師が誰と学ぶかを決める	教師が範囲を定めて誰と学ぶかを決める	過程の一部で誰と学ぶかを子供が決める	過程のほぼ全てで誰と学ぶかを子供が決める	すべての過程で誰と学ぶかを子供が決める
ツール	教師が何をを使うかを決める	ほぼ教師が何をを使うかを決める	子供に選択肢から選ばせる	ほぼ子供が自分でツールを決定	子供が自分でツールを決定
ペース	全員同じペースで学ぶ	ほぼ同じペースで学ぶ	一部学びたいペースで学ぶ	子供がほぼ学びたいペースで学ぶ	子供が学びたいペースで学ぶ
				※三井一希先生の資料をもとに作成	

時数	1	2	3	4	5 (本時)	6
課題	1 ▶	2 ▶▶	2 ▶▶	2 ▶▶	2 ▶▶	2 ▶▶
過程	1 ▶	4 ▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶	3 ▶▶▶
形態	2 ▶▶	5 ▶▶▶▶▶	5 ▶▶▶▶▶	5 ▶▶▶▶▶	5 ▶▶▶▶▶	2 ▶▶
ツール	1 ▶	3 ▶▶▶	3 ▶▶▶	3 ▶▶▶	3 ▶▶▶	2 ▶▶
ペース	1 ▶	4 ▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶	4 ▶▶▶▶	2 ▶▶

5. 個別最適な学びと協働的な学びを行う上での教師の手立て

学習過程	教師の支援	ICT
課題の設定  学習の計画 	- 単元の課題を「えらんだ小数をいろいろな見方でせつ明できるようにしよう!」とし、自分で説明したい! 小数を決めて単元に臨むことで追究の意欲を高める。 - 既習の「大きい数のしくみ」で学習した内容を想起しながら学習計画を立てることで、単元の見通しがもてるようにする。 - クラスルームに毎時間の学習の流れを示し、1時間のゴールを意識して学習に取り組めるようにする。	Chat クラシルーム スプレッドシート
情報の収集 	- 教科書や動画資料、「学び方タイム」のスライドを用意し、自分に必要な情報を選択しながら学べるようにする。 - Figjamやスプレッドシートの進捗シートを活用することで、他者参照しながら学べるようにする。 - より学習内容が深められる学習形態、学習相手を選ぶ環境をつくる。	Figjam 動画資料 スライド資料 スプレッドシート
整理・分析 	- 情報収集で得た様々な考え方の共通点や相違点を考えさせ、数の表し方や仕組みは「整数と同様に考えることができること」「0.1」をもとにしていることに気づくことができるようにする。 - 早く課題が終わった児童には、数字が変わっても同じことがいえるか、場面が変わっても同じことがいえるかと更に質が深まる課題を踏まえて、分析を行わせる。	Figjam
まとめ・表現 	- 毎時間、振り返りの時間を確保し、学びの記録を残す。 - 学習のしあげの問題では、どのような数学的見方・考え方を使っているか意識しながら問題に取り組めるようにする。	スプレッドシート

・個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を手段として、子供主体の授業を仕組む。そして、主体的・対話的で深い学びの授業へ導く。これから先も「自ら課題を見つけ、自ら課題を解決する」児童の育成が最大のテーマ。



・6年生の社会科「明治維新の最大の理由は？」解が1つではないからこそ教科書を自ら読み込み、議論。

C	D	E	F	G	H	I
10時間目 3.7をいろいろな見方で表すと						
事前 ループリック	自分のめあて B: 3.7を2つ以上の見方で表すことができる。 A: 3.7を2つ以上の見方で表し、言葉や式で せつ明することができる。 S: 3.7いがいの数字でも言葉や式でせつ明する ことができる。	いくつの見方 ができたか な？	先生チェック △1	①学んでわかったこと 【一番たいせつだと思ったこと】【めあてにたいして】 今日は～がわかった。(大切だと思った。)それは～だから。 今日は【 な見方】を使ったら～だった。 ②学び方について 友だちとくらべてみてどうだったか 自分でえらんで学習してどうだったか 調べ方・まとめ方はどうだったか 今日の学び方は～ところが良かった。なぜなら～。 今日の学び方は～が良くなかった。だから次は～したい。	事後 ループリック	時間をフル活 用！ 頭をフル回て んできた？
B	3.7を合わせた数、引き算、足し算をしたり全 部、割り算、掛け算のものをたくさんやりま した。合わせる、合わせないものをやりたい です。もう少しやりたいです。詳しく 説明しよう。2個以上やります。	2	☐	いろいろな友達に聞いたら違う見方をしていた。自分と は、違う合わせた数をしていました。自分は、合わせ た数を○+○=○ですってやりました。	B	A
B	3.7を2つ以上の見方で説明しよう。	2	☐	今日の算数では、3.7をどんな数かいろいろな見方で説 明できた。たとえば、○+○で合わせたら○になるか 足す見方で説明できた。あとほかの人と話し合ったら 0.1の見方やいろいろな見方がわかった。		
S	3.7を2つ以上の見方で説明し、違う数字でも 見方で説明しよう。	4	☒	見方がちがうとがいた。Sに向けて8.3をいろいろな見方でやれた。今 日の学び方は友だちに聞けたり友だちに教えられたりできたのいいと 思った。今日は0.1が何個分かをを使って説明ができた。	S	S
A	3.7を見方を使って詳しくしらべて2こ以上書こう。	3	☐	今日は、説明を2こ以上することができたし自分とちが うかんがえをたくさん知ることができた。たとえば合 わせる見方のところまでは同じだけどきかきたがちが う人がいた。学び方は、ともだちとやったらわからな いところがわかるようになった。		

・めあて・ループリック・振り返りで1枚進捗シートで集約されている。



・1年生の国語「自動車ずかんをつくろう」では、デジタルホワイトボードを使いこなし整理・分析。

・授業前にフラッシュカードのように自ら前時までの学習を進める。

ふく習タイム (小数)

種類 

ユーザー 

最終更新 

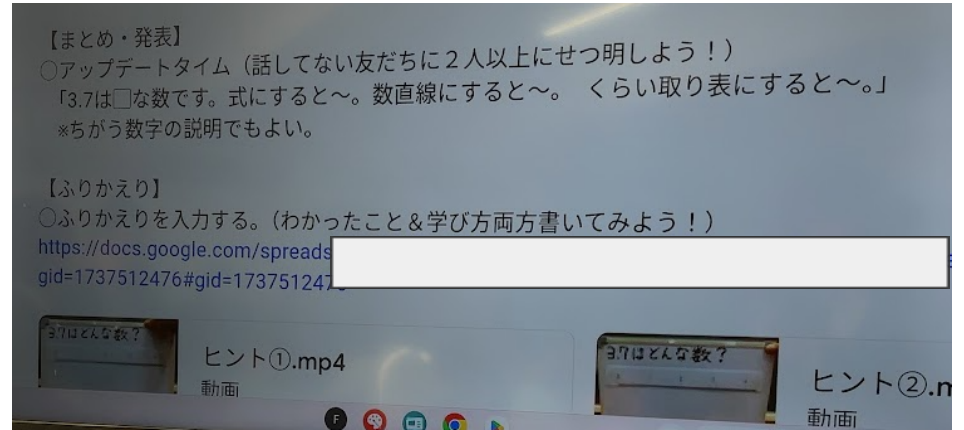
名前 

 小数①小数とは？ 

 小数②位 数直線 大きさをくらべ 

 小数③ たしざんひきざん 

 小数みんな問題 



・わからないときはヒント動画を自分のタイミングでいつでも視聴

【か題をきめる】

○ふく習タイム (ドライブからえらぼう！)

■ ふく習タイム (小数)

○か題のかくにん→ルーブリックをえらぶ→めあてをうつ。

■ 【小数 ふりかえり】

【じょうほうを集める】→教科書、友だち、動画、学び方スライド、Figjamのヒントコーナー

○学び方タイム (わかりやすいせつめいって？)

■ 学び方タイム～算数へん～

○3.7がどんな数かせつめいを書く。(書き方がわからない人は先生のところに集合！いっしょに1つやってみよう！)

・使う物→ノート、Figjam、紙のミニカード、ホワイトボード

・せつ明の方ほう→式、数直線、くらい取表、図、言葉など

○すすみ具合を写真にとってFigjamのせよう！自分とはちがう考えの友だちにどんどん聞いてみよう！

<https://www.figma.com/board/Ncez5zOef9Uenrye=canvas&t=8DhQmLC7VABcXglV-0>

※南小思考スキル

「⑤いろいろな点に目をつける」「⑩前に習った見方・考え方を使う」

【せい理・分せき】

○つまりそれってどんな見方？一言で○○の見方と名前をつけてFigjamに書きこもう！

※今日の算数の見方・考え方は？【 】

※南小思考スキル「⑩つまりでまとめる」

○教科書△1→教科書に書いて先生に○をもらう。

○終わったら・・・①べつの数字にかえても同じようにせつ明できるか書いてみよう。(ノート、Figjam)

※数字がかわっても同じような見方ができるかな？

②問題づくり△1のような問題をつくってみよう！→答えもつくってください。

■ 小数みんな問題

③ミライシードの問題に取り組んできたえよう！

【まとめ・発表】

○アップデートタイム (話してない友だちに2人以上にせつ明しよう！)

「3.7は□な数です。式にすると～。数直線にすると～。 くらい取り表にすると～。」

※ちがう数字の説明でもよい。

【ふりかえり】

○ふりかえりを入力する。(わかったこと&学び方両方書いてみよう！)

■ 【小数 ふりかえり】

・学習の流れとゴールをクラスルームに提示。振り返りシート等もリンクにして自走できる。

公開授業

塩山中学校

受付中

1年生全学級

2年生全学級

3年生全学級

令和6年11月27日（水）受付13:20

授業13:35～14:25 研究会14:40～15:10

学習会及び講演会（三井一希先生）15:20～16:20

WEBからの
お申し込み
はこちら！

子ども主体の授業 3つのしくみ



個別最適な学びと協働的な学び

学びの手引きを生徒に提示しゴールと流れを生徒は把握、自走する学びが可能です。



モニタリング

ICT端末から生徒も教師も進捗状況を把握、個別の支援も一層可能です。



塩山中校務DXと授業連携

標準アプリとURL等のクラウド環境を前向きに活かした校務DXの推進と授業は相似形

申し込みURL

<https://forms.gle/fi94oPxQmPhgQRAh8>

ブロック交流

年に2回行われる塩山中学校ブロックの研修を兼ねています。塩山南小、塩山北小・奥野田小の全職員が参加しての小中連携の研修です。市外や県外の先生方の参観もお待ちしております。

三井一希先生の学習会

11月27日には学校DX戦略アドバイザーの山梨大学准教授 三井一希先生の講演が行われます。個別最適な学びと協働的な学びと校務DXについて指導助言をいただきます。

リーディングDXスクール 甲州市

公開授業

塩山中学校

受付中

1年生全学級 2年生全学級 3年生全学級

令和6年11月27日(水) 受付13:20
授業13:35~14:20 研究会14:40~15:10
学習会及び講演会(三井一希先生) 15:20~16:20

WEBからのお申し込みはこちら!

子ども主体の授業 3つのしくみ



個別最適な学びと協働的な学び
学びの手引きを児童に提示しゴールと流れを生徒は把握、自走する学びが可能です。



モニタリング
ICT端末から生徒も教師も進捗状況を把握、個別の支援も一層可能です。



塩山中校務DXと授業連携
標準アプリとURL等のクラウド環境を前向きに活かした校務DXの推進と授業は相似形

申し込みURL

<https://forms.gle/fi94oPxQmPhgQRAh8>

ブロック交流

年に2回行われる塩山中学校ブロックの研修を兼ねています。塩山南小、塩山北小・奥野田小の全職員が参加しての小中連携の研修です。市外や県外の先生方の参観もお待ちしております。

三井一希先生の学習会

11月27日には学校DX戦略アドバイザーの山梨大学准教授 三井一希先生の講演が行われます。個別最適な学びと協働的な学びと校務DXについて指導助言をいただきます。

甲州市教育委員会

お問い合わせ先 TEL0553-32-1412

ICT端末×個別最適な学び×協働的な学びとは？という課題！

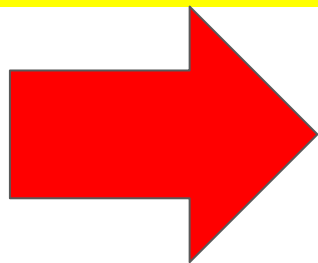
イメージがつかめない

どこから手をつけていいかわからない

理論はあるのか？

時間がかかる

一斉授業はダメなのか？



先進校視察！横展開

まずは流れとゴール！

個別最適な学びの理論提示

学習方略(学び方)！

二刀流の授業！

GIGA4年目は教科の本質という課題！

没入しているか？

ズレや答えが1つではないパフォーマンス課題

概念化や一般化の深い学びか

教科固有・その単元の見方・考え方

学びの孤立化

モニタリングでつなげる・議論

ドリル的になっていないか

解くだけ⇒着眼点⇒学習の個性化へ

一斉授業の質
は？

問題解決的な展開・協働的に練り上げ、見方・考え方等学び方を鍛える⇒単元のどこで委ねる

学校の取組例

山梨県甲州市立塩山中学校

GIGAスクール環境と1人1台端末を活用した

「主体的に学ぶ心豊かな生徒の育成」

～ICT端末の効果的な活用による生徒主体の授業づくり～

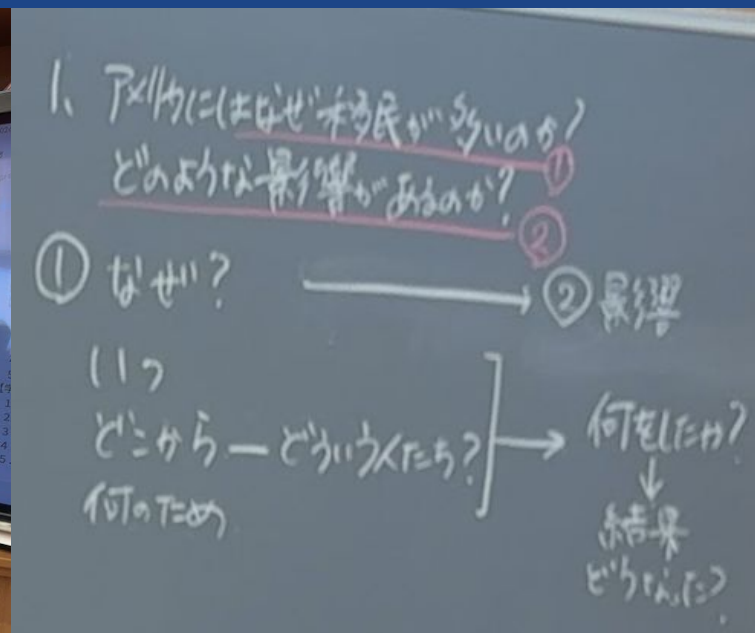
【中等教育資料 令和6年10月号記事】(文責：校長 那須文彦)

甲州市立塩山中学校(以下「塩山中」)は、山梨県甲州市塩山地区の中心部に位置する。郊外に桃や葡萄の果樹地帯が広がる甲州市では、商業、農業がともに盛んな上、学区内には史跡も多く、歴史と文化に満ちている。創立77年目を迎える塩山中は、伝統的に教育的関心が高い保護者の積極的な理解と協力を得て、学校・家庭・地域で連携しながら更なる飛躍を目指して教育を推進している。

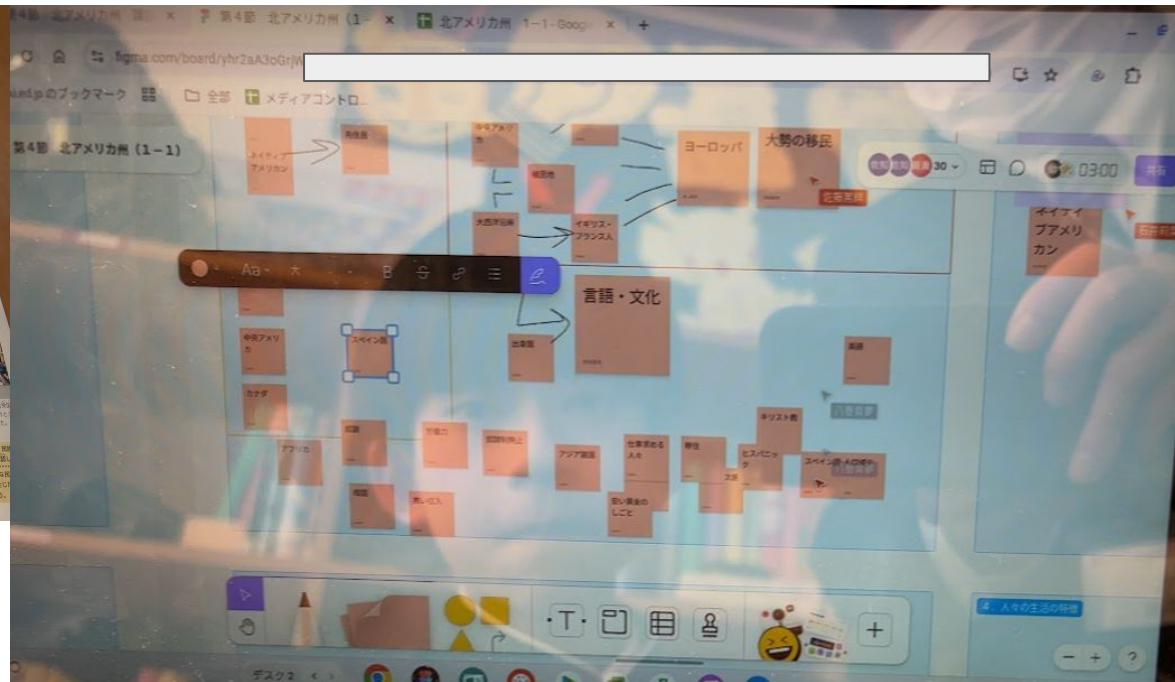
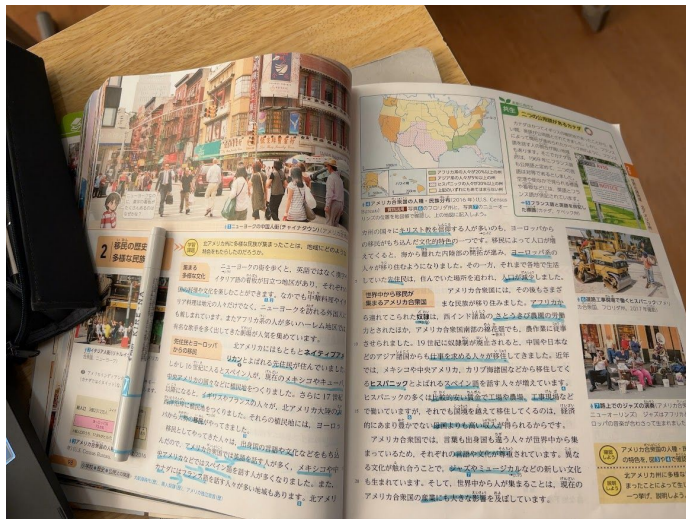
塩山中は昨年度から、ICT端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に取り組んできた。本年は、地域に根差した教育を目指し、市の教育基本目標に基づき策定された「夢をかなえる学びのプロジェクト」に沿って「授業改善」を校内授業研究の主題に据え、取り組んでいる。

(令和6年10月9日掲載)

[1人1台端末の活用方法と「一方向型授業」から「複線型授業」へ](#)



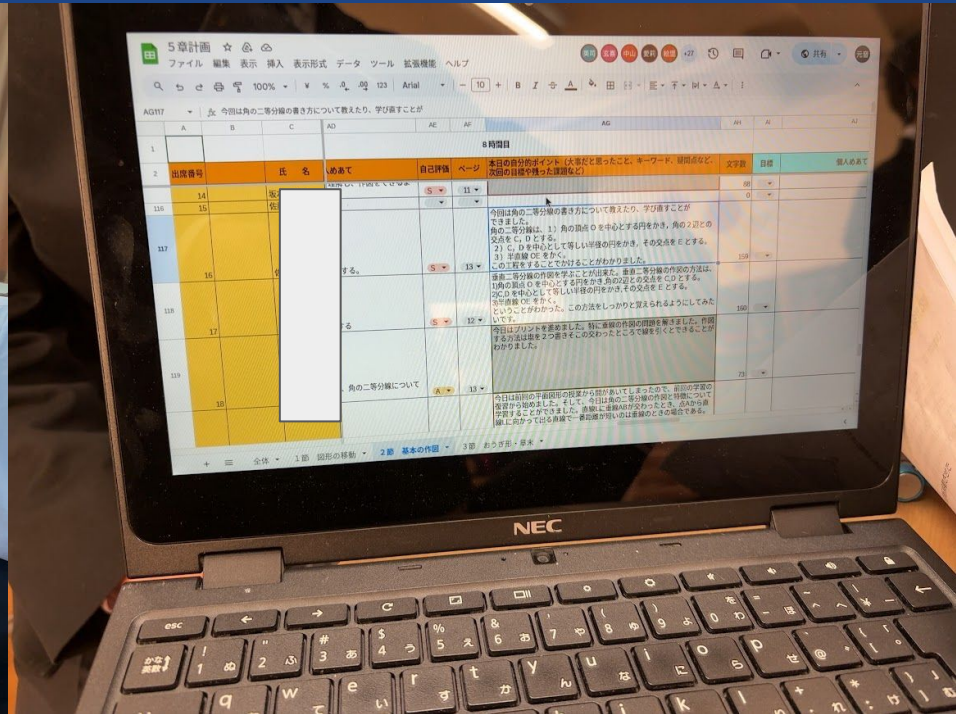
変わらず大事な学習内容の焦点化



白紙から自分らしい整理・分析 → 知識の構造化を図る



中学校でも学習形態の個別最適な学び



アウトプット量が増えてきている



322 ㊦

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	授業プリント		他者参照&振り返り				学習プリント集								ピックアップ問題	
2	1章 正負の数	計画	1組	2組	3組	4組	加法・減法①	答	乗法・除法①	答	素因数分解①	答				
3	佐々木解説用	答									積み上げ3ヒント					
4	2章 文字と式	計画	1組	2組	3組	4組	文字の使用	答	1次式の計算	答	数量の関係	答				
5	佐々木解説用	答					積み上げ4ヒント		積み上げ5ヒント				1学期復習プリント	答		
6	3章 方程式	計画	1組	2組	3組	4組	方程式の解き方	答	2節①⑤⑥類似&解方	答	方程式の活用	答	積み上げ6	答		
7	佐々木解説用	答					1節⑦⑧類似&解方	答	2節⑦⑧(比例式)類似	答						
8	4章 比例と反比例	計画	1組	2組	3組	4組	1節①～④, 2節①②	答	2節③⑥	答	反比例②	答				
9	佐々木解説用	答					1節④, 2節④⑤	答	反比例①	答	反比例③	答	利用の問題②	答		
10	5章 平面図形	答	計画&振り返り				配布プリントデータ	ヒント	1節②	答	2節④	答				
11	佐々木解説用						配布プリント解答		2節③	答						
12	6章 空間図形	計画	1組	2組	3組	4組										
13	佐々木解説用	答														
14	7章 データの分析と活用	計画	1組	2組	3組	4組										
15	佐々木解説用	答														
16	学習会開催日	9/24	10/3	10/8	10/24	11/5	テスト集								1回SUT	2/6
17	7:45~8:00	11/12	11/21				1学期中間テスト	答							1学期期末テスト	答
18							テストノートについて		テストノート計画・実践表				ダウンロードしたら、マイドライブに保存しましょう！			

クラウドでつながる
クラウド上の宝箱他クラス他者参照